

# INFORMATION

最新の情報は生理学会ホームページをご覧ください (URL: <http://www.soc.nii.ac.jp/psj/>)



## 生理学若手サマースクール 2003 開催のお知らせ (第1報)

開催日時 平成15年8月3日(日)～5日(火)  
場 所 東京医科歯科大学 5号館講堂  
テ ー マ 神経活動の記録・解析とその情報表現  
「記憶と学習のメカニズム」  
講 師 現在交渉中  
コーディネイター  
松田哲也 (東京医科歯科大学大学院心療ターミ  
ナル医学分野)

高橋 晋 (京都大学大学院文学研究科心理学研  
究室)  
アドバイザー  
金子章道 (慶応義塾大学医学部生理学教室)  
泰羅雅登 (日本大学医学部応用システム神経科  
学)  
主 催 日本生理学会  
日本生理学会若手の会



## 第35回 (2003年度) 内藤記念科学振興賞候補者推薦要領

趣 旨:

人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的領域において進歩発展に顕著な功績のあった研究者に対してほう賞を授与するものである。

候補者資格:

1) 人類の健康の増進に寄与する自然科学の基礎的研究において独創的テーマに取り組み、進歩発展に顕著な功績を挙げた研究者。

2) 候補者は単独とするが、異なる研究グループによる共同研究の場合には、連名であっても良い。

3) 候補者の再度の推薦は差支えない。

推 薦 者:

1) 下記27学会の代表者

高分子学会, 日本獣医学会, 日本農芸化学会, 日本遺伝学会, 日本植物生理学会, 日本発生生物学会, 日本ウイルス学会, 日本神経科学学会, 日

本ビタミン学会, 日本栄養・食糧学会, 日本神経化学会, 日本病理学会, 日本解剖学会, 日本生化学会, 日本物理学会, 日本化学会, 日本生物工学会, 日本分子生物学会, 日本癌学会, 日本生物物理学会, 日本免疫学会, 日本細菌学会, 日本生理学会, 日本薬学会, 日本細胞生物学会, 日本動物学会, 日本薬理学会

2) 当財団の役員および評議員

推薦件数は、1推薦者につき1件

推 薦 方 法:

所定の用紙(候補者推薦書, 候補者概要, 宛名シール)に必要事項を記入し, 当財団あて送付する。

締 切 日:

2003年10月1日(水) 財団必着

選 考 方 法:

選考委員会で審査し, 評議員会の同意を得て,

理事会で決定する。

採否の結果は、2004年2月に候補者および推薦者に通知する。

授賞式・顕彰：

授賞式は受賞者夫妻を招いて2004年3月19日(金)に行う。

受賞者には内藤記念科学振興賞(正賞：金メダル、副賞：500万円)を贈呈する。

その他：

1) 候補者推薦書は、できるだけワープロでご記入下さい。(切り貼り可)

2) 推薦書用紙は両面コピーで、宛名シールは同型のシールで申請可能です。

3) 学会推薦の場合は、学会の公印を捺印ください。

問い合わせ先

財団法人 内藤記念科学振興財団

113-0033 東京都文京区本郷3-42-6

NKDビル8階

TEL 03-3813-3005 FAX 03-3811-2917

URL <http://www.naito-for.jp/>

E-mail [info@naito-for.jp](mailto:info@naito-for.jp)



## 第1回時間生物学世界大会

### 1st World Congress of Chronobiology (WCC2003)

13の国と地域の時間生物学会が所属する時間生物学会世界連合(World Federation of Societies for Chronobiology)の、記念すべき第1回大会が、2003年9月11日(火)より9月12日(金)まで、下記の要領で、札幌市、北海道大学にて開催されます。一般演題はすべてポスター形式です。多くの方々の参加と演題申し込みをお願いいたします。

主催：World Federation of Societies for Chronobiology

会期：2003年9月9日(火)9:00  
～9月12日(金)12:00

会場：北海道大学学术交流会館、  
北海道大学百年記念会館、  
北海道大学クラーク会館

会長：本間研一  
(北海道大学大学院医学研究科 教授)

使用言語：英語

合同会議：第10回 日本時間生物学会学術大会  
サテライト会議(北海道大学学术交流会館)

第10回生物リズムに関する札幌シンポジウム  
2003年9月8日(月)9:00～18:00

第5回日本時間循環器高血圧研究会  
2003年9月12日(金)13:00～18:00

学会登録、演題申し込み、宿泊申し込み：すべて

大会ホームページURL <http://www.e-convention.org/wcc2003/> より申し込んで下さい。日本時間生物学会ホームページURL <http://www-soc.nii.ac.jp/jsc/> からリンクしています。なお、演題申し込みには事前に学会登録が必要です。

演題申し込み 締め切り 2003年5月29日

学会登録 事前登録締め切り 2003年6月30日

会費 事前登録 一般(¥25,000)

学生(¥10,000)

7日1日以降 一般(¥30,000)

学生(¥12,000)

### プログラム

#### Scientific Program

9月9日(火)

特別講演：M. Young (U.S.A.), J. Takahashi (U.S.A.), C. Czeisler (U.S.A.),

シンポジウム

Molecular Mechanism of Mammalian Circadian Clock (JSC symposium) : Organized by H. Okamura (Japan)

Melatonin (EPBRS symposium) Organized by P. Pevet (France)

Human Cancer Chronotherapy (ACM sympo-

sium) Organized by F. Levi (France)  
Molecular Clock Mechanism Beyond Species Barrier Organized by N. Ishida (Japan), B. Kyriacou (UK)  
Functional Subdivision Within the Suprachiasmatic Nucleus Organized by S. Inouye (Japan), W. Schwartz (USA)  
Circadian Rhythm Sleep Disorders; Physiology and Molecular Mechanism Organized by T. Ebisawa (Japan), L. Ptacek (USA)

ポスターセッション

9月10日 (水)

特別講演: B. Lemmer (Germany), R. Moore (USA), H. Okamura (Japan)

シンポジウム:

The Relationships Within and Among Oscillators of the SCN and the Periphery (SRBR symposium) Organized by M. Menaker (USA)

Circadian Systems in Photosynthetic Organisms (JSC symposium) Organized by T. Kondo (Japan) and C. Johnson (USA)

Environment and the Human Body Clock: Health Perspectives and Risk Factors (SFC symposium) Organized by Y. Touitou (France)

Molecular Mechanisms of Circadian Clock in Vertebrates Organized by S. Ebihara (Japan), H. Korf (Germany)

Multi-Oscillator Organization of Insect Circadian Systems Organized by K. Tomioka (Japan), T. Page (USA)

The Role of Circadian Rhythm Disturbances in Aging (SLTBR symposium) Organized by D. Harper (USA)

ポスターセッション

9月11日 (木)

会長講演: K. Honma (Japan)

シンポジウム:

Mammalian Photoreception Associated With Circadian Timekeeping (SRBR symposium) Organized by D. McMahon (USA)

Models for Circadian Rhythms Organized by S. Honma (Japan), T. Roenneberg (Germany)

Circadian and Homeostatic Control of Daily Rhythms (ISC symposium) Organized by D. Weinert (Germany)

ポスターセッション:

9月12日 (金)

特別講演: J. Arendt (UK), Y. Touitou (France)

シンポジウム

SCN-Independent Rhythm: Molecular to Behavioral Analysis Organized by S. Shibata (Japan), R. Mistlberger (Canada)

Mechanism and Adaptive Significance of Seasonal Rhythms in Mammals Organized by N. Ibuka (Japan), I. Zucker (USA)

Biological Rhythm as an Indicator for Longevity Organized by K. Otsuka (Japan)

第10回生物リズムに関する札幌シンポジウム

Aschoff/Honma Prize Winner's Lecture P. Hardin (USA)

特別講演 Eberhard Gwinner (Germany)

シンポジウム1 Human Circadian Rhythms A. Wirz-Justice (Swiss), H. Tokura (Japan) J. Zulley (Germany)

シンポジウム2 Molecular Mechanism of Biological Clock S. Daan (Netherlands), T. Roenneberg (Germany), G. Block (USA), H. Ueda (Japan)



## 千里ライフサイエンスシンポジウム

「免疫制御と免疫疾患研究の最先端」

日 時：平成 15 年 9 月 2 日（火）

10：00～17：00

場 所：千里ライフサイエンスセンタービル

5階ライフホール

主 催：財団法人千里ライフサイエンス振興財団

協 賛：株式会社千里ライフサイエンスセンター

着眼点：

免疫システムの作動と制御に関し、自然免疫系と獲得免疫系との調和のとれた相互作用、両免疫系の活性化における樹状細胞の働き、免疫応答を抑制する制御性 T 細胞等が注目を集めている。免疫制御と免疫疾患に関する研究の現状を踏まえて、免疫学の最もホットな領域で国際的に先端研究を展開している演者に最新的话题を提供して頂く。

コーディネーター：

東京大学医科学研究所教授 高津聖志

大阪大学大学院生命機能研究科・医学系研究科教授 平野 俊夫

プログラム

1. 自然免疫からみた免疫制御  
大阪大学微生物病研究所教授 審良 静男
2. 樹状細胞による免疫制御  
慶應義塾大学医学部教授 小安 重夫
3. 制御性 T 細胞による免疫制御  
京都大学再生医科学研究所教授 坂口 志文
4. TNF 受容体結合因子 (TRAF) ファミリーによるシグナル伝達と免疫制御

東京大学医科学研究所教授 井上純一郎

5. インターロイキン 6 シグナル異常と自己免疫疾患，特に関節リウマチについて

大阪大学大学院生命機能研究科・

医学系研究科教授 平野 俊夫

6. WT1 ペプチドを用いた癌の免疫療法

大阪大学大学院医学系研究科教授 杉山 治夫

参加費（講演要旨集含む）：

3,000 円（会員 [大学・官公庁職員，当財団の賛助会員]）；5,000 円（非会員）；1,000 円（学生）

定員：300 名

申込要領：

氏名，〒，所在地，勤務先，所属，電話および FAX 番号を明記の上，郵便，FAX または E-mail で下記宛お申込み下さい。事務局より受付の通知を返送いたしますので，そこに記載した振込先口座に参加費をお振込み下さい。入金を確認後，通常 2 週間以内に領収書兼参加証をお届けいたします。

申込先：

（財）千里ライフサイエンス振興財団シンポジウム (S13) 係

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町 1-4-2

千里ライフサイエンスセンタービル 8F

TEL：06-6873-2001 FAX：06-6873-2002

E-mail：fjs-lsf@senri-lc.co.jp

（注：lsf は「エルエスエフ」，lc は「エルシー」）

ホームページ：http://www.senri-lc.co.jp



## 助成対象研究募集のお知らせ

全国蒲鉾水産加工業協同組合連合会では、「かまぼこ製品（水産練製品）の効用」に関する研究助成の募集を次の通り，行ないます。

◆対象研究分野

体，脳，心への「かまぼこ製品（水産練製品）の効用」に関する研究。

◆応募申請者の資格・条件

大学・短大あるいは研究機関に所属している研

究者（グループも可）、  
研究成果は助成期間終了後、報告書（所定の形式）にて全国蒲鉾水産加工業協同組合連合会（以下全かま連）にご提出していただきます。

◆助成金額

助成金額は1件につき、50万円以上上限150万円（年間）とし、今期は5件程度の採用を予定いたします。

◆助成期間

原則として、1年間とします。（ただし、疫学研究等ある一定期間の観察を必要とするもの等はその期間を考慮します。）

◆募集期間

2003年7月28日（月）（必着）

採否結果は申請者へ直接通知いたします。  
（2003年8月下旬頃を予定）

◆応募方法

所定の研究助成申請書（事務局にて配布）に必要事項を記入の上、事務局までご送付ください。

◆募集申請書の請求及び提出先

〒162-8528 新宿区弁天町23-6

早稲田NAビル

協同宣伝内 全かま連 研究助成事務局

担当：赤星・横田

TEL：03-5285-3116 FAX：03-5287-5034

申請書の請求のみメールにて受け付けます。

akahoshi@kyosen.co.jp



## 第50回中部日本生理学会のご案内

中部地区の地方会（中部日本生理学会）は愛知、静岡、三重、岐阜、山梨、長野、石川、富山、福井各県の生理学会会員の集まりとして年1回の会合をもってきました。来年度より、日本生理学会大会での発表がすべて英語になることに合わせ、日本語の発表の場としての地方会を充実させるよう生理学会長の金子先生よりの指示を受けました。中部地区会員で検討した結果、今年度は全国から演題を受け付けることに致しました。多数のご参加、演題ご提出を頂きますようご案内申し上げます。

会 期：平成15年10月3日（金）、4日（土）

会 場：愛知県犬山市、犬山市国際観光センター  
「フロイデ」

発表形式：

口演（発表12分、討論3分の予定。演題数により変更の可能性があります。）

使用機器は液晶プロジェクターを原則とします。スライドご希望の場合は演題提出時のお知らせください。

演題申し込み方法：

電子メールの添付ファイルにて連絡先にある2

つの宛先の両方へお送りください。

ファイル形式はMS Word document形式、リッチテキスト形式、テキスト形式のいずれか。演題名、発表者・所属、本文の間は1行空けA4一枚以内にまとめてください。

口演者に○印をつけてください。

参加申し込み方法：

上記と同じ電子メールアドレスへ、参加者氏名、職名、演題提出の有無、懇親会出席の有無、テニス大会出場の有無、入金明細をお送りください。

参加費：

¥3,000、懇親会費：一般会員¥5,000、学生会員¥3,000、テニス大会参加費：¥1,000

参加、演題申し込み、参加費・懇親会費振り込み締切：平成15年8月22日

発表資格：

発表者（演者）の方は、日本生理学会の会員であることが必要です。未入会の方は入会手続きをしてください。共同発表者の方は入会不要です。入会手続きについては日本生理学会のホームページ（<http://www.soc.nii.ac.jp/psj/>）で

確認ください。

日本生理学雑誌掲載用抄録の提出：

学会当日、日本生理学雑誌掲載用抄録（タイトル・発表者・所属を含め600字以内、図表使用不可）のハードコピー（プリントアウト）2部およびファイル（フロッピーディスク使用、フォーマット、ファイル形式を明記）をご提出ください。

振込先：

口座番号：00810-5-1484

口座名称：第50回中部日本生理学会

上記振り込み口座に郵便局にある青色振り込み用紙でお振り込みください。

連絡先：

484-8506 犬山市官林，京都大学霊長類研究

所，行動発現分野

鈴木冬華，三上章允，tel：0568-63-0557，  
fax：0568-63-0563

ysuzuki@pri.kyoto-u.ac.jp，mikami@pri.kyoto-u.ac.jp

演題提出，参加申し込みは電子メールでの受付を原則としますが，電子メールをお使いでない場合は，上記連絡先住所に必要情報をご郵送ください。その他の詳細については，第50回中部日本生理学会ホームページ（<http://www.pri.kyoto-u.ac.jp/brain/chubu.html>）をご参照ください。テニス大会については準備出来次第，ホームページ上と参加申し込み頂いた方に電子メールでお知らせします。